



社会が求める評価を意識していこう！

【生徒のみなさんへ】

生徒のみなさんはよく知っていると思いますが、最近では社会の変化とともに求められる人材もどんどん変わっています。笑顔で対話ができないとか、あいさつはしないといった他者と協働できない人は、どうしても評価されず、あぶれていくようになることは、仕方ないようです。そうした中で、プレゼン力のある表現力のある人やボランティア活動等の他者のために活動した経験のある人が評価されるようになっているようです。高校側もそうした人材を確保したいと「求める生徒像」を公表していますね。

荘内中でも、そうした様々な求められる人材の観点で一人一人の評価を適切に行うように努めていきます。頑張った生徒が適切に評価されることを大事にしたいと思います。

最近は探求学習で成果を上げた人材やボランティア活動等に尽力した人材が評価されるようになってきました。部活動で成果を上げた事も県大会レベルであれば評価されるようです。そうしたことも認識していろいろな活動や体験に挑戦してほしいと思います。また、自分の活動は学校外も含めて主張できるように記録していくことも大切です。

時代の流れ、社会の変化に合わせて挑戦していきましょう！

生徒会資源回収ボランティア



たまの朝起会への壁画作成ボランティア



学校運営協議会での小中生参加



連合PTA依頼の幼児ぬり絵展示ボランティア



一人で悩まないで！「荘内よろず相談窓口」あるよ！

ネット相談窓口を開設しています。悩みがあったら相談してください。

なんでもOK！まずは相談を！！

右のQRコードからフォームに入力して送信してください。

Chatを招待しますので、ゆっくり話を聞かせてください。



【地域・保護者のみなさんへ】

荘内中学校では、生徒の活躍や様々な学校の方針等を随時、学校ホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。右のQRコードでご覧いただけます。





一学期グッドビヘイビアー表彰



善い行いをした生徒にはグッドビヘイビアー賞として校長から表彰を受けます。学校をよりよくしていく取組として大変重要なものです。これからも頑張っていきましょう。

地域共育目標の決定について

【地域・保護者の方へ】

玉野市教育委員会では、平成の終わりに地域とともにある学校づくりの一環として、それまで各校に組織されていた学校評議員制度から学校運営協議会制度に移行し、市内全校に導入しました。学校運営協議会を設置した学校はコミュニティースクールと称されます。地域と連携した学校教育の新たな制度として、全国的に導入が推進されています。学校運営協議会は学校教育の充実のために校長の教育方針や毎年行われる学校評価結果を検討し、子供たちの成長のために学校が行うこと、地域が行うことの役割分担等を熟議（熱く議論すること）することとなっています。

荘内中学校区では1小1中の強みを生かして、小中合同の学校運営協議会を組織しており、毎年3回程度開催されております。昨年度からは児童生徒の代表が協議会に出席し、熟議に参加するなど、協議会の充実を目指して取り組んでおります。

昨年度から、学校と地域が共に教育に取り組んでいくための共育目標の決定を目指して、「なりたい大人、なってほしい大人」等のテーマで熟議を続け、今年度8月に開催した協議会で、共育目標が決定されましたので、お伝えいたします。



子どもが主役！夢を育む荘内中学校区共育目標 「周囲に愛されながら、チャレンジし続ける子どもの育成」

荘内中学校区は、子どもの主体性を大切にして、未来に向かって自分の力で進んでいく力を身に付けていく地域となるべきだと考えます。「子どもが主役！」という言葉にはそうした思いが込められており、学校と地域が効果的なキャリア教育を進めることで、子どもたちは夢を思い描くものと考えています。そうした考えを大切にしながら、「愛される人間」となり、自他を大切にしながら、様々なことにチャレンジしていく子どもを育てることが重要であるとして、目標を設定いたしました。

「愛し、愛される(応援される)人」になるためには、思いやりの心、感謝の心、対話力、あいさつ力等の人間力が必要です。「チャレンジしていく人」になるためには、自分の夢を持つ、人と繋がる力、協働する力等が必要です。子どもたちが、未来に向かって自分の力で進んでいくことができるように、学校・地域・家庭が同じ目標(共育目標)をもち、それぞれの立場で何ができるか一緒に考えていただければと思います。

